NIEワークシート／小学校中学年～中学校／理科・社会・総合

名前【　　】

①童謡（どうよう）「赤とんぼ」を作詞（さくし）した たつの市出身（しゅっしん）の詩人（しじん）は誰（だれ）ですか。

②「アキアカネ」の自然羽化（しぜんうか）を成功（せいこう）させたNPO法人（ほうじん）は何（なん）といいますか。

			・						会	

③この記事（きじ）の感想（かんそう）を書（か）きましょう。

野生赤トンボ 童謡の里飛ぶ

たつの、激減「アキアカネ」自然羽化

地元NPO 水たまり作り産卵後押し

幼虫のヤゴから羽化したばかりのアキアカネ。淡い赤色は成長すると濃くなる＝いずれもたつの市揖西町中垣内

童謡「赤とんぼ」を作詞した三木露風（1889～1964年）の故郷たつの市で、全国で激減している赤トンボの代表種「アキアカネ」の自然羽化が確認された。人工飼育に毎年成功している地元のNPO法人が、蓄積したノウハウを生かして産卵環境を整備。これまでに約90匹が飛び立ったといい、取り組み開始から3年目で悲願の野生繁殖を実現させた。（直江 純）

赤トンボが飛び交う秋の000年ごろから各地で急景色は長く日本で親しまれ激に減った。水辺のほかにてきたが、アキアカネは2水田に産卵することも多い

アキアカネが自然産卵しやすいように作った水たまり。飛び立つ前に数を数えられるように網をかぶせた

ため、農薬の一部が要因として指摘されている。

自然羽化を成功させたNPO法人「たつの・赤トンボを増やそう会」は、露風が描いた原風景の復活を目指して08年に発足した。宍粟市内で交尾後の成虫から卵を採取し、11年に初めて人工羽化に成功。その後も精力的な生態研究などで、着実に羽化数を伸ばしていった。昨年は486匹が、たつのの空に飛び立った。

一方で、産卵期を迎えた

アキアカネを自然に呼び込むため、18年には休耕田に水たまりを作って産卵に適した環境を整備。1年目は失敗したが、2年目の19年秋には複数のつがいが卵を産んだ。羽化に必要な水が不足することのないよう毎日見守り続けた結果、幼虫のヤゴは順調に成長。6月中旬以降、相次ぐように成虫となった。

童謡「赤とんぼ」に出てくるトンボの種類については諸説あるが、歌詞に「とまっているよ 竿の先」とあることから、そうした習性を持つアキアカネとの見方が根強い。

同会の前田清悟理事長(71)は「野生のアキアカネは市内では年に数匹しか目撃されていなかった。赤とんぼの里にふさわしい情景を取り戻すため、野生が産卵しやすい環境を整えていきたい」と意気込んでいる。

アキアカネ 赤トンボの代表種。全国で数が減り、兵庫県のレッドリストでは「最近減少が著しい種」などを示す「要注目種」に分類されている。4～5月に水田や水たまりの卵からヤゴがふ化し、6～7月に羽化して成虫となる。盛夏は標高の高い山間部で過ごし、10～11月に平野部に下りてきてつがいが交尾し、産卵する。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。